



photo: Ken Ohki

TAKE FREE
2025.11

とやまごろろ

ー日本橋とやま館たよりー

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



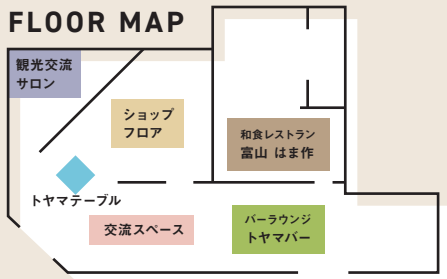
NIHONBASHI
TOYAMA



11月の日本橋 とやま館情報

日本橋とやま館では、食、工芸、ワークショップ
などもりだくさんのイベントを開催中！
ぜひ“富山”をたっぷり感じてください。

FLOOR MAP



トヤマテーブル

富山の匠の技 おりんの音色

10/24(金)~11/13(木)

高岡銅器の「おりん」は、澄んだ美しい音色が特徴です。銅などの金属を用いて作られ、独特の響きを奏でます。さまざまな大きさやデザイン、音色をお楽しみください。

富山の冬支度 富山の干柿

11/14(金)~12/11(木)

富山の干柿は、強い甘みと上品な風味が特徴です。表面に果糖が粉砂糖のように吹くことでさらに甘みが増し、見た目にも美しい仕上がりになります。期間限定での展示販売を、ぜひお見逃しなく！

バーラウンジ トヤマバー

まぜいりこ

提供中

選りすぐったいりこ（煮干）と乾燥エビ、鯉節、煎りゴマ、青のりを自家製梅風味のタレで和えた「まぜいりこ」（柿太水産・氷見市）をご提供しています。しっとりとした味わいにファンが多い逸品です！



— 500円（税込）

交流スペース

Toyama Glass à la carte

〜とやまのガラス展〜

※イベント最終日は17:00終了

10/24(金)~11/6(木)

富山県内で制作活動するガラス作家10名の作品を展示・販売します。吹きガラス・バーナーワーク・キルンワークなど、様々なガラス技法を用いて制作したうつわ、アクセサリーなどをお楽しみください。

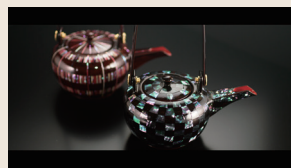


高岡漆器 逸品祭・うるしの宴

11/28(金)~12/11(木)

※イベント最終日は18:00終了

400年以上の歴史を誇る伝統的工芸品「高岡漆器」。匠の技で生み出されるインテリアや食器、雑貨など、日常に取り入れやすく上質なおもてなしの空間を演出するアイテムを展示・販売いたします。



（写真はイメージです）

ショップフロア

富山あんぽ柿

富山あんぽ柿は、果肉の水分率が35%程度になるまで干した、半生タイプの干柿です。中身は半熟のゼリー状で柔らかく甘みが凝縮されていて、ビタミンや食物繊維などが豊富に含まれます。そのままデザートとして、刻んでヨーグルトやサラダにトッピングしても美味しく召し上がれます。



交流スペース

高岡銅器 第10回 楽縁市

11/7(金)～11/26(木)

※イベント最終日は18:00終了

富山県を代表する伝統的工芸品「高岡銅器」。伝統を重んじつつ、時代とともに変化するライフスタイルに合わせた作品作りにもチャレンジしています。“出会い”と“ご縁”で多くの人が集う場となることを願い「楽縁市」として毎年銅器展を開催しています。干支、縁起物、仏具、茶道具、テーブルウェア等、400年受け継がれてきた伝統と技による高岡銅器の魅力を紹介します。



ワークショップ

高岡銅器 楽縁市のものづくり体験

素材の魅力に触れるものづくり体験としてワークショップを開催します。

《鉄の植木鉢のペイント体験》

11月8日(土)・9日(日)

料金:2,750円(税込/現金のみ)

高岡鉄器の植木鉢に好みの絵付けができます。

《錫の盃製作》

11月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)

料金:4,400円(税込/現金のみ)

圧延した錫板を木型に入れて、叩いて盃を鍛造で作ります。

盃は小皿などとしても使用できます。



【共通のご案内】

時間:11:00～17:00 各ワークショップとも20～30分程

定員:各回2名

参加対象は、小学生以上(小学生は保護者同伴でお願いします)

※イベントの詳細とお申し込みは、日本橋とやま館ホームページをご覧ください。

和食レストラン 富山はま作

富山米と味わうカキフライ定食

提供中(ランチタイムのみ・数量限定)

真牡蠣を、外はサクサク、中はジューシーなフライに仕上げました。濃厚な旨味が口いっぱいに広がるカキフライと富山の自然が育んだふっくらご飯の絶妙な組み合わせをぜひご賞味ください。



— 2,480円(税込)

館内スケジュール

土 1					
日 2	Toyama Glass a la carte 「とやまガラス展」	〈交流スペース〉	〈トヤマテーブル〉	富山の匠の技	
月 3					
火 4					
水 5					
木 6					
金 7					
土 8					
日 9				おりんの音色	
月 10					
火 11					
水 12					
木 13					
金 14					
土 15					
日 16					
月 17					
火 18					
水 19					
木 20					
金 21					
土 22					
日 23					
月 24					
火 25					
水 26					
木 27					
金 28					
土 29					
日 30					

※11月27日(木)は展示替えのため交流スペースのみクローズします。

観光交流サロン

お気軽に
お立ち寄りください

伝統工芸をしつらえた上質な空間で、コンシェルジュが富山県の観光情報等をご案内いたします。



高岡鑄物発祥の地 金屋町

高岡で最も古い町、金屋町は加賀藩が高岡繁栄策のため鑄物師7名を呼び寄せ鑄物場を開設、やがて銅器産業の中心となりました。2012年に鑄物師町として全国で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、細やかな千本格子造りの家々が軒を連ね、石畳の道と調和した街には、鑄物作りが体験できる工房、お店があり、高岡の伝統工芸に触れることができます。



400年の歴史 #02 銅器の街 高岡

銅器製造技術の粋を集めた 日本一の美男

高岡大仏は、13世紀頃に京都の仏師が約5mの木造大仏を造立、その腹中に金銅仏を納め大仏殿を創建したことが起源と伝えられています。現在の大仏は3代目の青銅製、総高約16mで、「円光背」には阿弥陀仏の仏徳を示す梵字一文字が頂点に配されています。奈良・鎌倉と合わせ日本三大大仏とも称され、また日本一の美男とも呼ばれる阿弥陀如来坐像は高岡のシンボルとして市民に親しまれています。



【表紙の紹介】

暮らしに欠かせない鉄鍋や農具の製造から始まった高岡鑄物は、しだいに銅鑄物へと発展しました。高岡大仏は、住民の意志によって作られた鑄物職人の技術の結晶であり、高岡の歴史と文化の象徴となっています。
撮影：大木賢



400年の歴史 銅器の街 高岡

高岡は、約400年前に加賀藩初代藩主前田利長が高岡城を築き、その城下町として基盤が形成されました。その後、商工業都市として発展を遂げ今に至っています。高岡の鑄物は、鍋や釜、鋤・鍬などの鉄鑄物から始まりましたが、彫金師や佛具師の持つ技術と鑄物師の技術が融合して銅鑄物が作られるようになり、銅器の一大生産地として発展し、伝統工芸として現代に継承されています。

日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30～19:00
和食レストラン 11:30～14:30
17:00～22:00(日・祝～21:00)
バーラウンジ 11:00～21:00
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)

営業時間やイベント内容、商品の価格については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式ホームページ・SNS等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階
ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富士はま作」 03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅:
B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅:
B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅:
B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より
徒歩8分
「東京」駅より
徒歩8分

公式ホームページ



公式ホームページ更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館



公式SNS

LINE
@673mfbq



facebook
@toyamakan.jp



Instagram
@toyamakan

